

砺波市で「生徒指導講演会」を開催 ～インターネットの安心・安全な利用方法を学ぶ～

総務省北陸総合通信局（局長 山田 和晴（やまだ かずはる））は、平成30年7月26日（木）に砺波市小・中・高校生徒指導連絡協議会、富山県教育委員会、北陸情報通信協議会（会長 久和 進（きゅうわ すずむ）北陸経済連合会会長）とともに、砺波市役所庄川支所において小・中・高校生のネットトラブル防止のための「生徒指導講演会」を開催しました。

小・中・高等学校の生徒指導主事と希望者を対象に兵庫県立大学 竹内 和雄（たけうち かずお）准教授が「スマホ時代の子どもたちのために」という演題の下、スマートフォン等の安心・安全な利用について、講演を行いました。

まず、竹内准教授がスマートフォンの画面を見せながら、注目を浴びる目的で自分の映像を配信する子どもがいること、スマホのゲームといえども通信を行い他人と協力しながら行っていること等、最近の子どもたちのスマートフォンの使い方の事例を挙げ、スマートフォン等の長時間利用による生活習慣の乱れ、不適正な利用による犯罪被害及びいじめやプライバシー問題など発生している状況を説明しました。

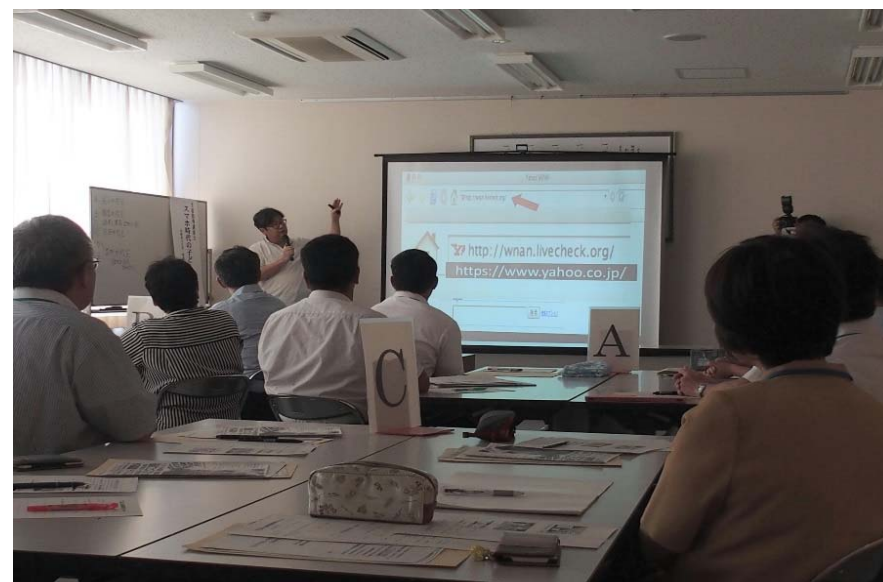
参加者からは、インターネットに起因する事件は、都会だけではなく地方の学校の生徒も巻き込まれる可能性があるということに、驚きの声があがりました。

また、ネットトラブルが発生しても、先生には相談しにくい、あるいは相談しても解決につながらないと考えている子どもたちが非常に多い現状を指摘した上で、どうすれば先生を頼り相談してくれるかという課題に対し、秘密を守ることを強調し、自分がスマートフォンに関する知識が乏しい場合には、県警や専門家などその分野に詳しい人に相談するなど具体的な対応策を提示しました。

そのほか、未然防止のために子ども自身が考え学ぶための支援方法も解説しました。



講演する 竹内 和雄 准教授



スマートフォンの画面表示しながら解説する様子